

平成28年5月24日

# 自然の恵みを感じながら

校長 柳瀬充男



1, 2年生が、学校の校門近くの田んぼでレンゲ摘みをさせてもらいました。みんな薄紫のレンゲの花を手にいっぱい集めて、楽しそうに田んぼの中を走り回っていました。草笛のならし方を教えてあげると、一生懸命に挑戦してくれました。



また、今年も校庭のサクランボの木に真っ赤な実がたくさんつきましたので、1, 2年生の子ども達にサクランボ狩りをしてもらいました。自然の甘みをいっぱい味わったので、サクランボのような笑顔がいっぱい並びました。取り切れずに木に残った実は、鳥たちがおいしくいただいたようです。

5月13日には、1, 2, 3年生がサツマイモのつるさしを体験させてもらいました。畑は地域のみなさんが準備をしてくれましたので、子どもたちは、つるをならべるだけでしたが、浅かったり、まっすぐ立ったままだったり、なかなか教えてもらったようには植えられません。後で、ずいぶん手直しをしていただきました。雑草が生えにくいように黒いマルチも丁寧にかけていただいています。日頃のお世話も任せっきりになりますので、自分たちで育てたサツマイモとは胸をはって言えませんが、1本の小さな苗からたくさんのおいしいサツマイモが出来るのを楽しみに、イモ畑のそばを毎日登校したいと思います。

